

次世代エネルギーワークショップ(2016年度) —名古屋—

～30年後のエネルギー選択を考える～

日時： 2016年12月16日(金) 12:45 ～ 16:30

2016年12月17日(土) 10:00 ～ 16:30

場所： SMBC パーク栄(名古屋市中区錦 3-25-20)

主催： エネルギーワークショップ実行委員会

共催： 上智大学地球環境研究所
一般社団法人 環境政策対話研究所

後援： 文部科学省、環境省、資源エネルギー庁
三井物産株式会社
特定非営利法人 持続可能な開発のための教育推進会議 (ESD-J)

協力： なごや環境大学実行委員会
公益財団法人 地球環境戦略研究機関
一般社団法人 太陽光発電協会
一般社団法人 日本原子力産業協会
一般社団法人 日本風力発電協会
一般社団法人 日本電機工業会

ワークショップのねらい：

エネルギー問題は、経済、環境、安全、国際関係、技術等が絡んだ複雑な問題です。2011年3月の東日本大震災に伴う原子力発電所の事故をきっかけに、エネルギー選択に関わる議論が時代の大きな要請となりました。加えて、昨年12月パリ協定が採択され、温室効果ガス大幅削減のためにも、長期的視野に立ったエネルギー選択の議論が益々重要となっています。

この長期を展望した課題解決には、未来社会の主役である若い世代の積極的な参加が必須です。『次世代エネルギーワークショップ』は、その議論の場を提供し、議論の実践を行う試みです。

参加学生： 33名 (男性19名;女性14名、学部生27名;大学院生6名、留学生 2名)

＜愛知県・名古屋市内＞…21名

| | |
|--------|----------|
| 愛知学院大学 | 名古屋外国語大学 |
| 愛知教育大学 | 名古屋工業大学 |
| 中京大学 | 名古屋市立大学 |
| 中部大学 | 南山大学 |
| 名古屋大学 | 名城大学 |

＜愛知県外＞…12名

| | |
|--------|------|
| 静岡大学 | 神戸大学 |
| 金沢大学 | 岡山大学 |
| 立命館大学 | 九州大学 |
| 京都女子大学 | |
| 大阪大学 | |

本事業は、三井物産環境基金の助成を受けて実施するものです。

また、プログラムの開発は、実行委員会に結集する研究者と株式会社博報堂合意支援プログラム「わかりあい」及び「博報堂ブランドデザイン」の連携の下に行われました。

プログラム

1日目(12月16日)

| | | |
|----------------------------------|--|---|
| 12:15 | 受付 参加学生は、予め決められた席に着席(所属大学、男女、学年等を配慮して構成された6つのグループに分かれる) ワークショップへの参加に当たっての連絡・注意事項 | 総合司会 岸田眞代 (NPO 法人 パートナーシップ・サポートセンター) |
| 12:45 | 開会挨拶 全体オリエンテーション 柳下正治……エネルギーワークショップ実行委員会委員長 | |
| 13:00 | ウォーミングアップ | 以下、進行はファシリテーター |
| 13:10 | エネルギー問題に関する知識の習得 ●専門家によるレクチャー 木村 浩 (エネルギー問題、エネルギー政策等) 柳下正治 (温暖化・気候政策) | 情報資料集の活用 |
| 13:30 | ワークショップの進行における「社会シナリオ」と「視点」 木村 浩 | |
| 13:40 | グループ作業 事前学習と、専門家のレクチャーを踏まえて ①理解を深める ②レクチャーを聞いての気付き、質問づくり(1班2問) | 付箋、ホワイトボード、模造紙の活用 質問の作成 |
| —休憩— 事務局側では、提出された質問の整理 | | |
| 14:25 | 専門家とのQ&Aセッション……知識の共有が目標 質問の趣旨の説明 専門家より回答 | |
| 15:10 | グループの編成 —類似価値観グループの形成— 「5つの未来像」「8つの視点」を用いて個人の価値観を表出 | ダイアグラムの活用 |
| 15:25 | 討議直前のアンケートの実施 | アンケート用紙に記入 |
| 15:30 | グループ討議 I (類似価値観グループ) 冒頭、自己紹介、グループ名を付ける。 ➡(A)エネルギー選択に関する討議結果一次案(模造紙) | 付箋、ホワイトボード、模造紙の活用 |
| 16:30 | 初日終了 | 終了後、全員の記念撮影 |
| 17時20分頃から懇親会 (19時頃解散) 参加者間の交流 | | 場所:「さが野」中日ビル B2 052-263-7411 原則として全員参加が望まれます。 |

| | | | |
|----------|---|-------|---|
| 5つの未来社会像 | <ul style="list-style-type: none"> ➢ ものづくり統括拠点社会 ➢ メイドインジャパン社会 ➢ サービスブランド社会 ➢ 資源自立社会 ➢ 分かち合い社会 | 8つの視点 | <ul style="list-style-type: none"> ➢ 経済効率性 ➢ エネルギー安全保障 ➢ 環境 ➢ 安全性 ➢ エネルギーイノベーション ➢ グリーンエコノミーの追求 ➢ 世代間公平 ➢ 地域との関わり |
|----------|---|-------|---|

2日目(12月17日)

| | | |
|-----------------------------------|--|---|
| 10:00 | 再確認オリエンテーション | FA |
| 10:05 | エネルギー・シミュレーションの実施 (類似価値観グループ) (1)オリエンテーション(木村 浩) (2)シミュレーション入力 ・討議結果に基づき入力データをシートに記入し、パソコンに入力 ・パソコン計算結果に基づき、 (B)シミュレーション報告シートの作成 | PPT、シミュレーションの模擬操作 グループごとにシミュレーションの実施 |
| 10:40 | エネルギー・シミュレーションの結果の振返り (1)振返り(シミュレーション結果の解説、エネルギー選択にどう活かすか) (2)専門家に対する質問づくり (3)専門家とのQ&A(質問の趣旨の説明、専門家からの回答・助言等) | |
| 11:30 | グループ討議Ⅱ (類似価値観グループ) ➡ (C)エネルギー選択に関する討議結果二次案 ➡ボードに貼り出す | 必要に応じシミュレーションの実施 一次案(A)を修正 |
| 12:15 | グループの再編成 —異価値観グループの形成— | 各グループ一人(代表者)が残り、それ以外の者は他グループに移動 |
| —昼食— 会場で弁当 異価値観グループごとに自己紹介しながら | | 昼食後、ボードに貼り出された各グループの二次案を巡覧 |
| 13:20 | グループ討議Ⅲ (異価値観グループ) 互いの価値観や重視点の違いを知りあい、エネルギー選択の洞察を深める 意見をしっかりと伝え、他者の意見を敬意をもって聞き、意見交換 (1)代表者がここまでのエネルギー選択の案を発表 (2)各メンバーが意見表明(同意できる点、違和感を思える点、その理由) ⇒代表者はコメント (3)話し合っていきたいポイントを一つ決める (4)各メンバーが自分の意見をまとめ付箋を活用して示し、共有。 (5)グループ内の対話 | ボードの二次案(C)を活用 付箋、ホワイトボード、模造紙の活用 |
| 14:20 | グループ討議Ⅳ (類似価値観グループ) メンバーは異価値観グループでの討議から気づきを持ち帰り討議 ➡ エネルギー選択に関する討議結果最終案 | 必要に応じ、専門家に質問 二次案(C)に赤字修正、又は新規に |
| —休憩兼プレゼンテーションの準備— | | |
| 15:10 | 発表 (グループ代表による)……最終案、討議の変遷、気づきと発見等 | ボードに貼り出された模造紙を活用 |
| 15:50 | 講評 専門家 | |
| 16:05 | ワークショップ終了後のアンケートの実施 | アンケート用紙に記入 |
| 16:15 | 閉会 挨拶終了・解散 | |

ワークショップの成果

- ① 30年後の日本社会の電源構成
- ② 前提とした検討事項
 - ・目指すべき未来社会像
 - ・エネルギー選択において大事にした視点
(こだわること、負ってもよい不利益)
 - ・将来の電力の総需要量
- ③ 考察
 - ・一次案から最終案までの検討で得られた気づきと発見
 - ・討議における論点/争点や残された課題

専門家

木村 浩 (NPO 法人パブリック・アウトリーチ研究企画部研究統括)
柳下正治 ((一社)環境政策対話研究所代表理事、上智大学客員教授)

ファシリテーター

篠田 さやか (オフィスキュア)
<補佐> 市川 博美 (ソーシャルコーディネーター)

総合司会

岸田眞代(NPO 法人パートナーシップ・サポートセンター代表理事)

エネルギーワークショップ実行委員会(メンバー)

織 朱實 (上智大学大学院教授)
木村 浩 (上記)
佐藤真久 (東京都市大学教授)
藤木勇光 (電源開発株式会社 秘書広報部)
前田洋枝 (南山大学准教授)
(委員長) 柳下正治 (上記)
山下紀明 (NPO 法人環境エネルギー政策研究所)



エネルギーワークショップ実行委員会事務局

上智大学 地球環境研究所 環境政策対話推進センター
担当: 植田朋子

〒102-0081 東京都千代田区四番町4(上智大学市ヶ谷キャンパス)
Tel : 03-3238-4088
E-mail : sophia.ngews@gmail.com